2019年度法学類「法理学」2(10月10日配布)

述語論理(predicate logic)入門

- 1. 命題: 真偽が定まっているもの。 例「クロは猫である。」
- 2. 命題関数 (propositional function): 命題中、個体を表す表現を x, y, z... で置き換えたもの。
 - 例「x は猫である。」
- 3. 個体変項 (individual variable): 命題関数における x, y, z...
- 4. 述語(predicate): 個体が満たす性質や関係を表した表現。述語記号 F, G, H... で表す。
 - 例 $\lceil \dots$ は猫である」を F で表す。 \Rightarrow $\lceil x$ は猫である」は Fx で表される。
- 5. 個体定項 (individual constant): 変項の値となる固有名。記号 a, b, c... で表す。 例 クロを a で表す。 ⇒「クロは猫である」は Fa で表される。
- 6. 全称量化:命題関数の個体変項に「すべて」という量を与えること。全称量化子 (universal quantifer) ∀x で表す。
 - 例 「すべてのxについて、xは猫である」という命題は、 $\forall x Fx$ で表される。
- 7. 存在量化:命題関数の個体変項に「ある」という量を与えること。存在量化子 (existential quantifer) ∃x で表す。「ある x が存在し、その x は猫である」という命題 は、∃xFx で表される。
- 8. 述語論理における論理式の形成規則
 - (a) 1つの述語記号の後ろに1つの項(個体定項または個体変項)をおいたものは 論理式である。(これを原子式と呼ぶ。)
 - (b) Pを論理式とすると、 $\neg P$ は論理式である。
 - (c) P,Q を論理式とすると、 $(P \land Q), (P \lor Q), (P \to Q)$ は論理式である。
 - (d) Pを論理式、xを個体変項とすると、 $\forall xP, \exists xP$ は論理式である。
 - (e) (a)(b)(c)(d) によって論理式とされるもののみが論理式である。

9. 次の英文を論理式に翻訳せよ。

(Sx: x likes Sushi. Jx: x is Japanese.)

- (a) Everyone likes Sushi.
- (b) It is not the case that everyone likes Sushi.
- (c) Nobody likes Sushi.
- (d) It is not the case that nobody likes Sushi.
- (e) Every Japanese likes Sushi.
- (f) It is not the case that every Japanese likes Sushi.
- (g) No Japanese likes Sushi.
- (h) It is not the case that no Japanese likes Sushi.

10. 次の英文を論理式に翻訳せよ。

- (a) It is not the case that someone dosen't like Sushi.
- (b) Someone doesn't like Sushi.
- (c) It is not the case that someone likes Sushi.
- (d) Someone likes Sushi.
- (e) There isn't anyone who is Japanese and doesn't like Sushi.
- (f) There is someone who is Japanese and doesn't like Sushi.
- (g) There isn't anyone who is Japanese and likes Sushi.
- (h) There is someone who is Japanese and likes Sushi.